Ⅱ 岡山県のがん統計

1 集計対象

岡山県に住所を有する者(外国人を含む)で、2021(令和3)年1月1日から2021(令和3)年12月31日までの間に、がんと診断された者及び市区町村長から報告される死亡者情報票によって把握されたがんによる死亡者

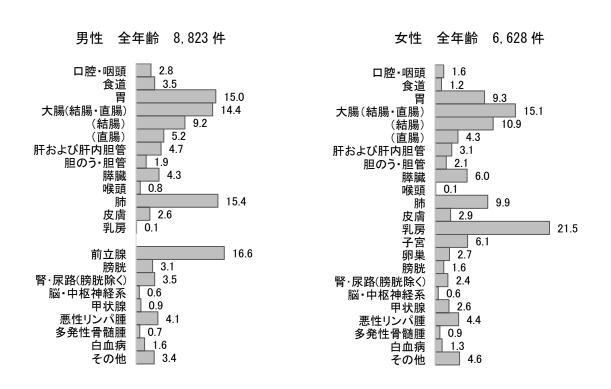
2 罹患の状況

(1) 罹患の概要

岡山県内に居住する者について、新たに診断されたがん(上皮内がんを除く)は、男性 8,823 件、女性 6,628 件、合計 15,451 件であった。

部位別では、男性は前立腺(1,464 件、16.6%(全部位に占める割合、以下同じ))が最も多く、次いで肺(1,355 件、15.4%)、胃(1,326 件、15.0%)の順となっている。また、女性は乳房(1,426 件、21.5%)が最も多く、次いで大腸(1,004 件、15.1%)、肺(656 件、9.9%)の順となっている。【図4】

図4 部位内訳(%)(表1-Aから作成)



注) 上皮内がんを除く

(2) 年齢別に見たがんの罹患

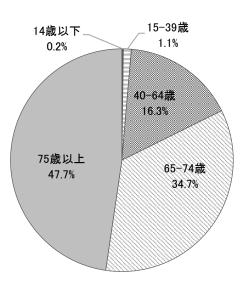
新たに診断されたがん(上皮内がんを除く)について年齢階級別内訳をみると、男性では全体の約82.3%、女性では全体の約71.0%が65歳以上である。

また、総数で見ると男性の方が多いが、15~39 歳及び 40~64 歳は女性の方が多い。 これは、この年齢層で女性の乳房及び子宮ならびに甲状腺に発生するがんが多いためで ある。【図 5·6】

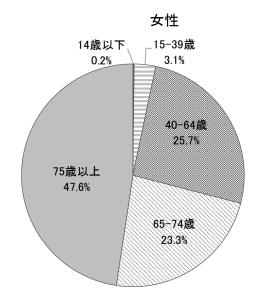
図5 年齢階級別内訳(%)(表2-Aから作成)

男	1	4
		_

年齢階級	男性 (件)
14 歳以下	19
15-39 歳	101
40-64 歳	1, 439
65-74 歳	3, 058
75 歳以上	4, 206
総数	8, 823

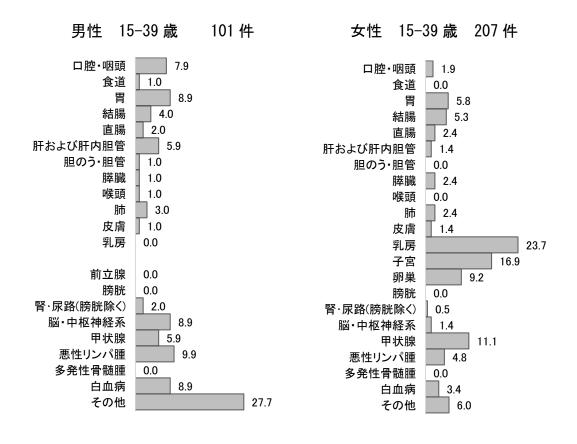


年齢階級	女性(件)
14 歳以下	12
15-39 歳	207
40-64 歳	1, 706
65-74 歳	1, 547
75 歳以上	3, 156
総数	6, 628

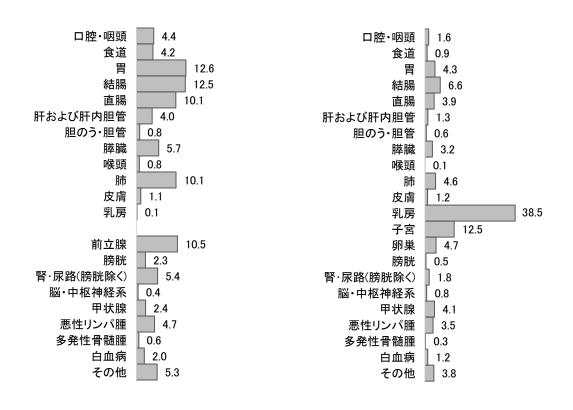


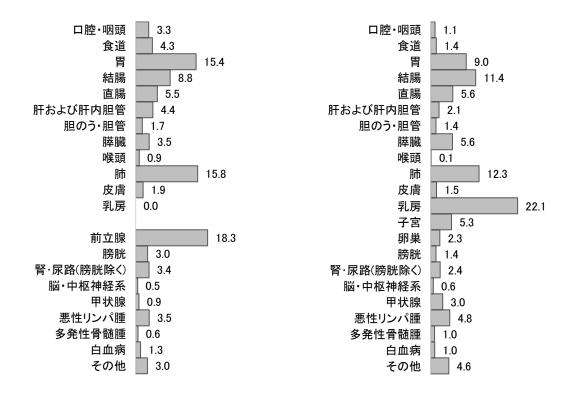
注) 上皮内がんを除く

図6 年齢階級別部位内訳(%)(表2-Aから作成)



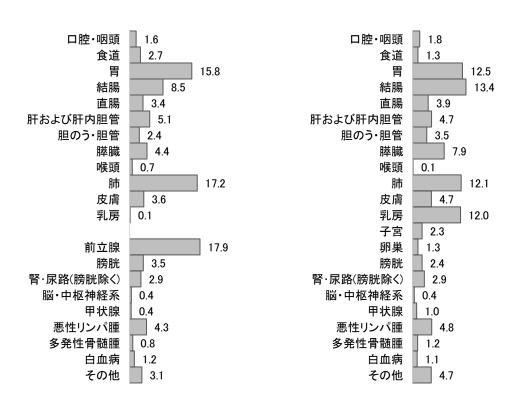
男性 40-64 歳 1,439 件 女性 40-64 歳 1,706 件





男性 75 歳以上 4,206 件

女性 75 歳以上 3,156 件



注) 上皮内がんを除く

部位別年齢階級別罹患率を見ると、ほとんどの部位において、年齢が高くなるほど 罹患率が高くなっているが、女性の乳房及び子宮は、若い世代の罹患率が高い。

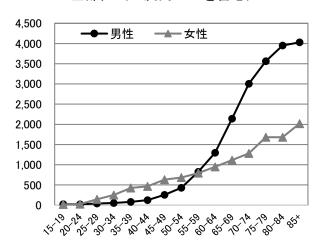
また、子宮頸部の上皮内がんについて 20 代後半から 40 代後半までの罹患率が高くなっている。【図 7】

図7 部位別年齢階級別罹患率:人口10万対(表3-2.A,Bから作成)

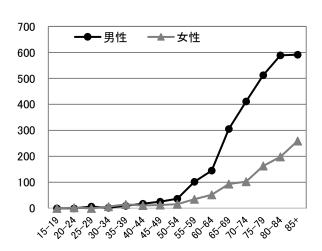
全部位(上皮内がんを除く)

4,500 4,000 3,500 3,500 2,500 2,500 1,500 1,500 1,000 500 0

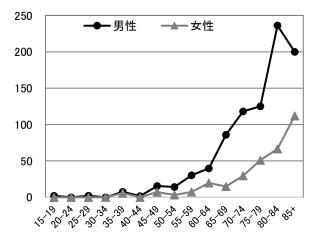
全部位(上皮内がんを含む)



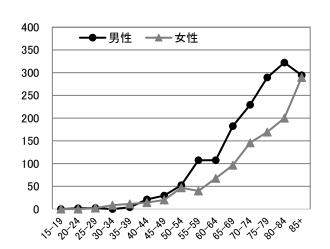
胃



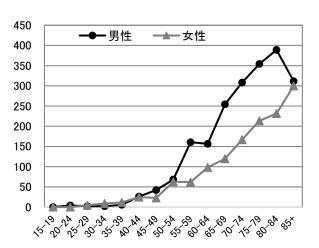
肝および肝内胆管



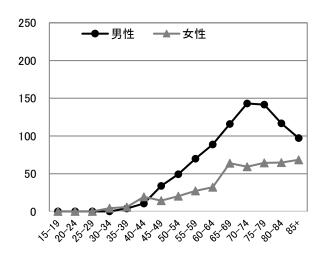
結腸(上皮内がんを含まない)



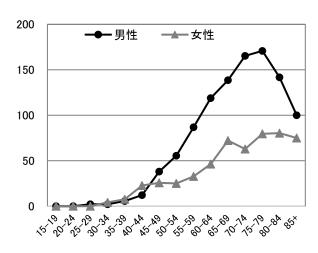
結腸(上皮内がんを含む)



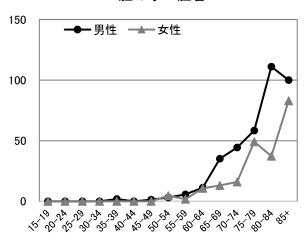
直腸(上皮内がんを含まない)



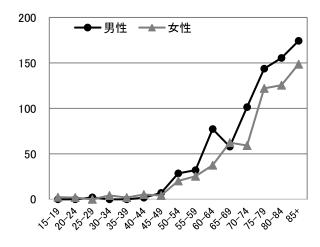
直腸 (上皮内がんを含む)



胆のう・胆管

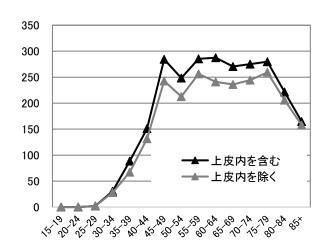


膵臓

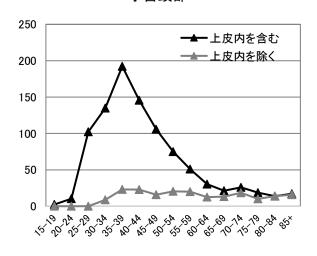


肺(上皮内がんを除く)

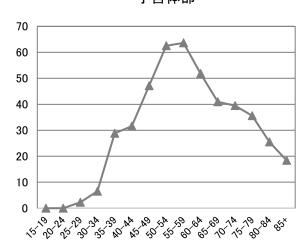
乳房(女性のみ)



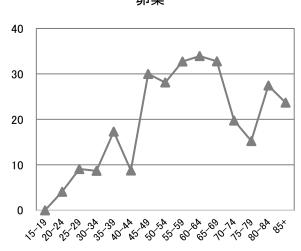
子宮頸部



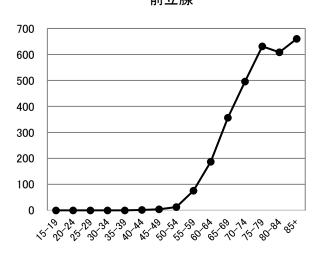
子宮体部



卵巣



前立腺



(3) 岡山県のがんの罹患の特徴

部位別の粗罹患率と年齢調整罹患率について、厚生労働省の「全国がん登録 罹患数・率報告」において公表されている全国値との比較を示した。

年齢調整罹患率で見ると、全国と比べて、男性は胃に関して高く、女性の乳房と子宮 頸部は低い傾向にある。【図8・9】

図8 部位別粗罹患率:人口10万対(表1-Aから作成)

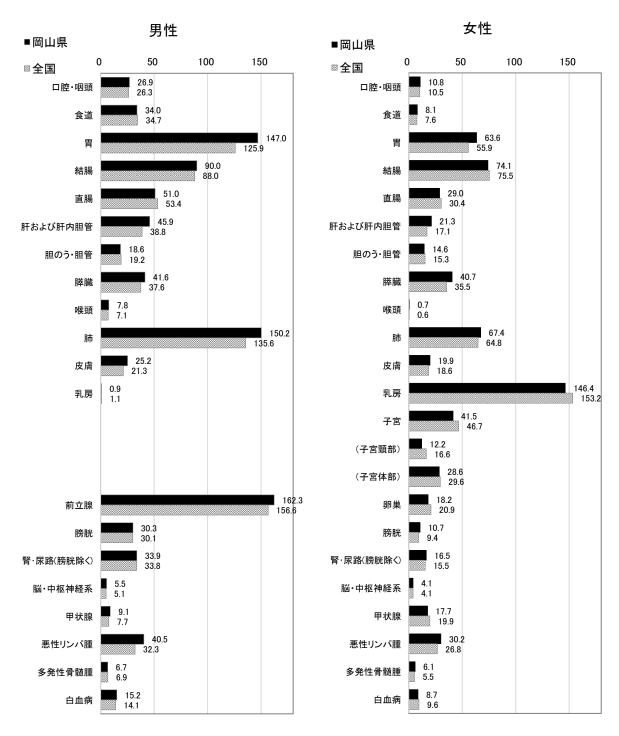
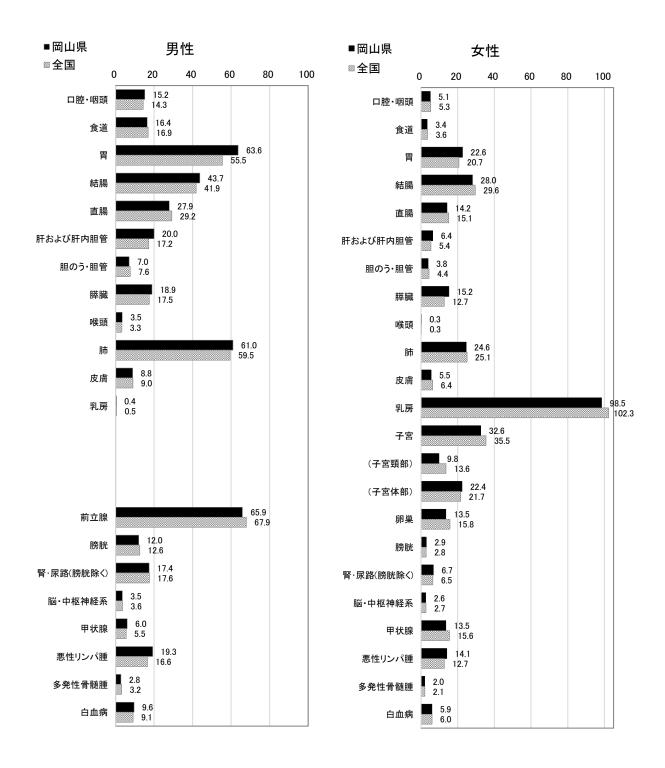


図9 部位別年齢調整罹患率:人口10万対(表1-Aから作成)



(4) 主要部位別罹患状況の年次推移

罹患数及び年齢調整罹患率の推移を、男女別に示した。【図 10~13】 年齢調整罹患率で見ると、男性では、前立腺の罹患率が増加傾向にあり、女性では、 依然として乳房の罹患率が高いものの、横ばい傾向である。

図 10 罹患数の年次推移:主要部位別、男性

図 11 年齢調整罹患率の年次推移:主要部位別、男性

- 大腸 - → 肝および肝内胆管 - → 肺 - → 前立腺

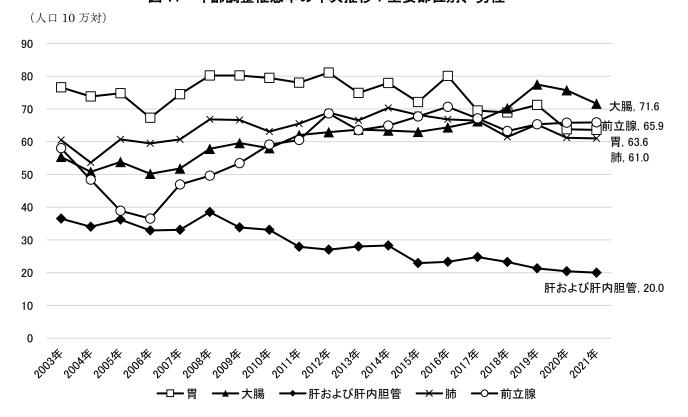


図 12 罹患数の年次推移:主要部位別、女性

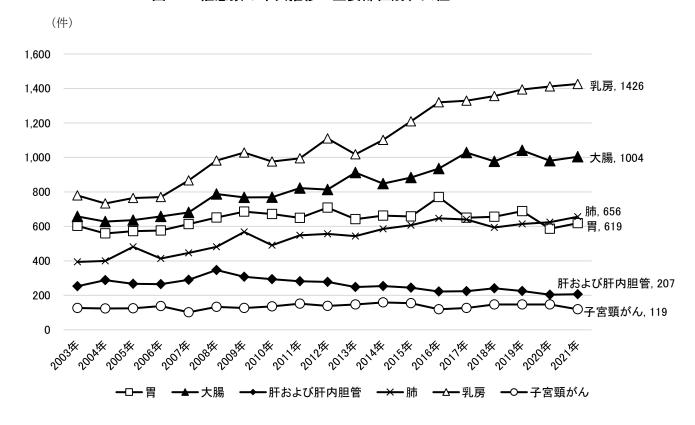
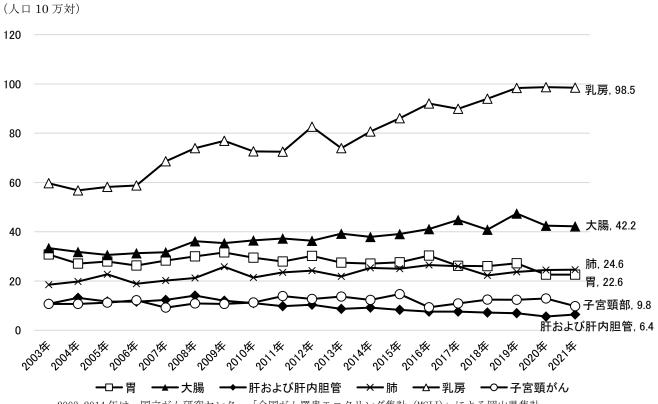


図 13 年齢調整罹患率の年次推移:主要部位別、女性



2003-2014 年は、国立がん研究センター「全国がん罹患モニタリング集計 (MCIJ)」による岡山県集計。 2003, 2004 年は、乳房及び子宮のみ上皮内がんを含む。2005 年以降は、すべての部位において上皮内がんを含まない。